



日本共産党 品川区議会議員 区政報告
としふみ ニュース
のだて 稔史

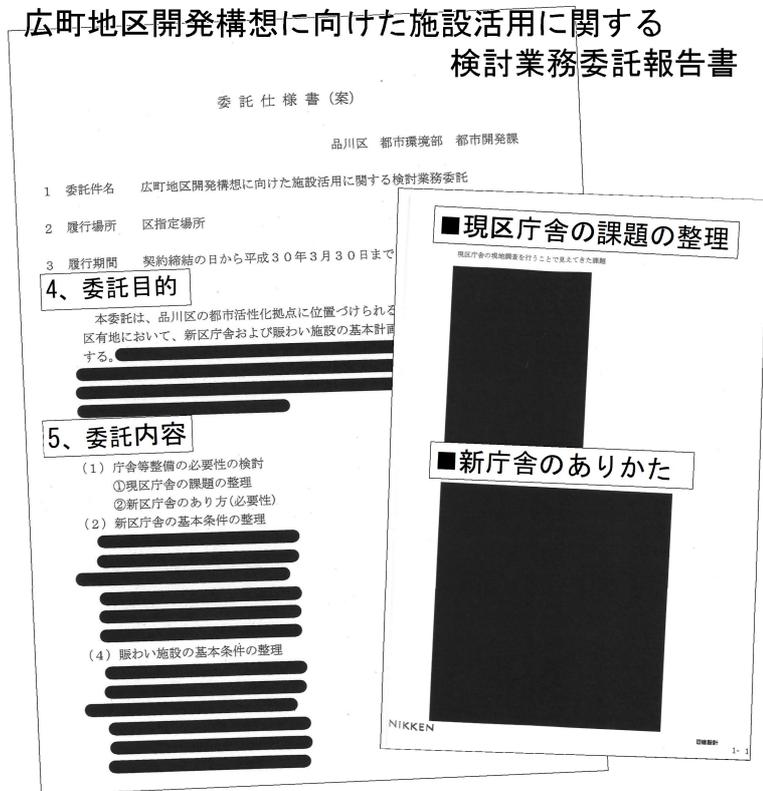
区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せ下さい。

仮事務所：品川区豊町6-12-6 TEL：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 TEL：03-5742-6818

区役所庁舎建て替え問題

報告書は黒塗り・非公開

広町地区開発構想に向けた施設活用に関する
検討業務委託報告書



区民の財産である区庁舎の建て替えが検討過程をひた隠しにし、広町地区再開発と一体に進められています。

ほとんど非公開

共産党は情報公開請求で検討過程の報告書を入手しました。

8割が公開さえされず、一部公開部分も委託目的や現庁舎の課題、新庁舎のあり方まで黒塗りです（左図）。

区は非公開の理由を「区民に混乱をもたらす」と説明しますが、これらの報告書は区が足かけ10年間で15本、

3億円の税金を投じて大手設計会社やJRに委託したものであり、区民のための検討を隠す必要などないはずで

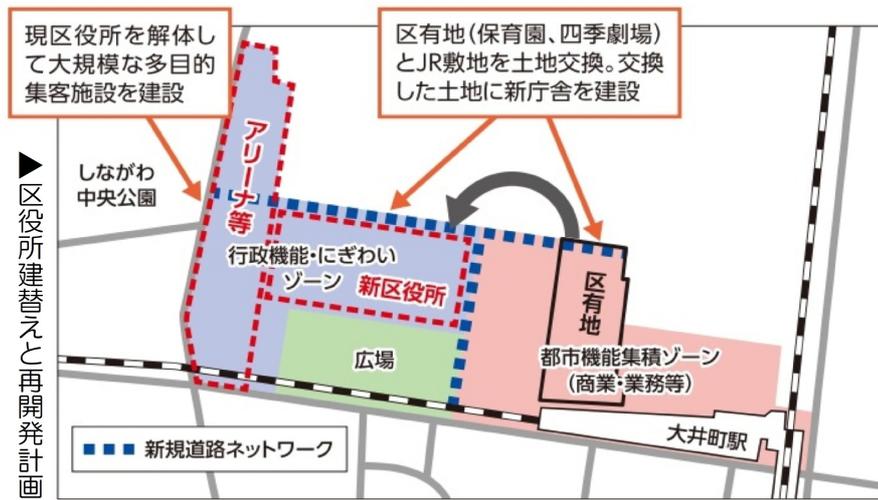
区が案・スケジュールを提示

区は大井町駅となりの四季劇場や区立ひろまち保育園のある区有地とJRの土地を等価交換し、そこに新庁舎を建設する案を8月の行革委員会に示しました（裏面の図）。

2020年まで機能検討、21年基本構想、24年度新庁舎着工、27年度現庁舎解体着工というスケジュールも示されました。ウラへ

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、34歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。ジブリ映画、バドミントン、テニスが好き。



また区は現庁舎跡に「多くの集客が可能な多目的施設（アリーナ）を建設する再開発方針も示しました。

区役所建て替えにアリーナなど周辺再開発を最優先するのは止め、住民福祉の充実こそ位置づけるべきです。

区庁舎建て替え検討は情報公開と区民参加で

現庁舎は免震工事をしており、耐用年数はあと17年あります。それを開発優先に4年後に着工する必要はありません。

庁舎建て替えを現在進めている世田谷区では策定委員会に多数の公募区民を入れ基本構想を策定しました。

建て替えを特集した区報発行や住民説明会の開催など情報公開と区民参加を貫き、防災に配慮した基本5階建て、歴史的建築物を一部保存する案を軸に進められています。

品川区も開発企業との密室検討ではなく、徹底した情報公開と現庁舎の課題や防災拠点、職員が働きやすい、区民が利用しやすい庁舎などの検討を区民参加で行い、区民のための区役所を作るべきです。

市民と野党の共闘で憲法活かす政治へ

昨年12月12日、品川総がかり行動実行委員会が4周年記念講演会を行いました。全国の会の共同代表である小田川氏が講演しました。

小田川氏は「共闘が発展し、4度の国会で改憲発議を阻止してきた。引き続き頑張りましょう。」と語りました。

中東の情勢もきな臭くなってきた中で改憲を許せばどこへでも自衛隊が派遣され日本の若者が巻き込まれることになります。憲法を活かした政治こそ必要です。



▲講演する小田川氏

無料

2月10日(月) 午後6時～8時

会場：のだて稔史仮事務所 豊町6-12-6
お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。
できるだけ事前にご連絡下さい。TEL 3786-6674
場所が変わりましたので間違えないようご注意ください。

日本共産党

法律相談